

教科	国語	科目	現代文A	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新編現代文A			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1 文章を読む楽しさを味わい、自らのものの見方・感じ方・考え方を深めます。 2 読書に親しみ、国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てます。 3 言語感覚を磨き、言語文化に対する理解を深めます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 新しい発見	○ 随想的な要素をもつ評論の読み方を習得します。	中間考查 期末考查
	5月 小説を読む (一)	○ 小説を読む楽しさを実感し、読書への意欲を高めます。	
	6月 言語と文化	○ 日本の言語文化について理解を深めます。	
	7月 詩を味わう	○ 表現やリズムに気を付けながら情景や心情を考えます。	
2学期	8月 小説を読む (二)	○ 人物の心情を想像し、人間関係における人の心の在り方について考えます。	中間考查 期末考查
	9月 人間と文化	○ 日本の文化と外国の文化の違いについて理解を深めます。	
	10月 小説を読む (三)	○ 小説世界を自己のものの見方や考え方に引き付けて考えます。	
	11月 人生の風景	○ 随想の読解の仕方を習得し、文章の構成の特徴について理解します。	
	12月 言語活動	○ 自分でテーマを決め、インターネットを用いて情報を集め、発表します。	期末考查
3学期	1月 社会と文化	○ 本文の構成に注意しながら、筆者の考察がどのように展開しているのかを把握します。	学年末考查
	2月 小説を読む (四)	○ 物語を場面ごとに分け、それぞれの場面における登場人物の心情の変化を読み取ります。	
	3月 言語活動	○ 研究発表の仕方を習得します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	文章を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。
-----------	---

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 探究類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	<p>1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。</p> <p>2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。</p> <p>3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。</p>
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画	
1 学期	4月	第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。	中間考査	
	5月	第3章 科学技術の発達と私たちの生命			
	6月	第4章 高度情報社会と私たちの生活			
	7月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配			○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。
2 学期	8月	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。	中間考査	
	9月				
	10月	第4章 国際政治の動向と日本の役割			○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。
	11月	第5章 現代の経済社会と私たちの生活			○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。
12月					
3 学期	1月	第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。 ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探索します。	学年末考査	
	2月	第7章 民主社会に生きる倫理			
	3月	第3編 とともに生きる社会をめざして			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	<p>1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。</p> <p>2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。</p> <p>3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。</p>
-----------	---

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 教養類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。 ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。 ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。 ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期末 考査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。 ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学年 末 考査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 とともに生きる社会をめざして		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。			

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。 ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。 ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。 ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期末 考査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。 ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学年 末 考査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 とともに生きる社会をめざして		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。			

令和4年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集2022(第一学習社)、ワークブック現代社会(愛媛県高教研 地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。 ○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。	中間 考査
	5月 第3章 科学技術の発達と私たちの生命 第4章 高度情報社会と私たちの生活		
	6月		
	7月 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配		
2 学期	8月 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。 ○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。 ○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。	中間 考査
	9月		
	10月 第4章 国際政治の動向と日本の役割		
	11月 第5章 現代の経済社会と私たちの生活		
12月		期末 考査	
3 学期	1月 第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。 ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探究します。	学年 末 考査
	2月 第7章 民主社会に生きる倫理		
	3月 第3編 とともに生きる社会をめざして		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方や生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。			

教科	数学	科目	数学 I	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校数学 I 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 三角比、集合と論証、データの分析についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 3章 三角比 1節 三角比	○相似な三角形、三平方の定理等の既習事項を確認します。 ○直角三角形の2辺の比として、三角比の定義を学習します。 ○三角比を利用して、いろいろな距離を求める方法を学習します。 ○サイン・コサイン・タンジェントの間の関係を学習します。	中間考查 期末考查
	5月		
	6月		
	7月		
2 学期	8月 2節 三角比の応用	○三角比で抜う角を鈍角まで拡張するために、座標を用いた定義を学習します。 ○三角比を利用して、三角形の面積を求める方法を学習します。 ○正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の辺や角及び外接円の半径、さらにいろいろな距離を求める方法を学習します。 ○いろいろなものの集まりについて、その表し方や用語を学習します。 ○ことがらが正しいかどうかを判断する考え方や、命題が正しいことを証明する方法を学習します。	中間考查 期末考查
	9月		
	10月 4章 集合と論証 1節 集合		
	11月		
3 学期	12月 2節 命題と証明	○目的に応じていろいろなデータを適切に整理する方法を学習します。 ○データの特徴を一つの値で代表することを考え、データの散らばりを数値で表すことを学習します。	学年末考查
	1月 5章 データの分析 1節 データの分析		
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	図形と計量及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、図形と計量及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校 生物基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	サンダイアルNavi&トレーニング生物基礎(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	○生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けます。 ○生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解します。	中間 考査	
	5月	2節 細胞とエネルギー			
	6月	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	○生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解します。 ○遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解します。		期末 考査
	7月				
2 学期	8月	2節 遺伝情報の分配	○DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解します。	中間 考査	
	9月				
	10月	3節 遺伝情報とタンパク質の合成	○DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解します。 ○生物と遺伝子に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。 ○生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。		
	11月	3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境			
12月			期末 考査		
3 学期	1月	2節 体内環境の維持のしくみ	○体内環境が保たれていることを理解します。 ○体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解します。	学年 末考査	
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	生物や生物現象に関わり、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	理科の見方・考え方を働かせ、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行きましょう。 3 定期考査には全力で臨みましょう。
-----------	--

教科	保健体育	科目	体育	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 体づくり運動	○ 集団行動を通して、計画的な実践、協力、責任などに対する意欲を高めます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	学年末考查
	2月	10 球技Ⅱ		
	3月	11 体育理論		

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

教科	保健体育	科目	保健	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	1
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	2 単元 生涯を通じる健康	○ 思春期の変化について理解します。 ○ 異性との人間関係について理解します。 ○ 結婚に際して健康面から考慮すべきことを学びます。 ○ 妊娠・出産期の健康について理解します。 ○ 家族計画の意義について学びます。 ○ 加齢に伴う心身の変化について理解します。 ○ 高齢者の健康課題を理解します。 ○ 保健行政の役割について理解します。	期末考查
	5月	1 思春期と健康		
	6月	2 性意識と性行動の選択		
	7月	3 結婚生活と健康		
	8月	4 妊娠・出産と健康		
2 学期	9月	5 家族計画と人工妊娠中絶	○ 保健機関と医療サービスを活用するときの留意点について学びます。 ○ 医薬品の使用方法について理解します。 ○ 我が国の健康づくりの取組について理解します。 ○ 大気汚染の健康被害について理解します。 ○ 環境汚染の影響について理解します。 ○ 環境汚染の改善方法について理解します。 ○ ごみ処理の現状・課題、上下水道の整備について理解します。	期末考查
	10月	6 加齢と健康		
	11月	7 高齢者のための社会的取り組み		
	12月	8 保健制度とその活用		
	1月	9 医療制度とその活用		
3 学期	2月	10 医薬品と健康	○ 食品の衛生管理について理解します。 ○ 食品の安全のため、消費者が行うべきことを理解します。 ○ 働くことと健康の関わりについて理解します。 ○ 労働災害の原因について理解します。 ○ 職場で行う健康増進対策について理解します。	学年末考查
	3月	11 さまざまな保健活動や対策		
	4月	3 単元 社会生活と健康		
	5月	1 大気汚染と健康		
	6月	2 水質汚濁・土壌汚染と健康		

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
評価の観点	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点で総合的に評価します。学年末の成績は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業で学習した内容を積極的に日常生活に取り入れるように心掛けましょう。 2 保健や健康についての新聞やニュースに気を配り、日頃から健康について関心をもつようにしましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語I	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	Viva! English Communication I			出版社名	第一学習社	
	副教材	コーパス3000 (東京書籍)					

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の考えなどを的確に理解する力を伸ばします。 3 簡単な英語で話したり、書いたりして、英語を用いて伝える力を伸ばします。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 Lesson 1 Reach Out to the World!	○現在形と過去形、疑問詞を使った疑問文を学びます。	中間考査 期末考査
	5月 Lesson 2 What Is Your Favorite?	○進行形を学びます。	
	6月 Lesson 3 Life in Space	○助動詞を学びます。	
	Lesson 4 Kikigaki Koshien	○to 不定詞 の形を学びます。	
	7月 1学期の復習		
2学期	8月 Lesson 5 The Cradle of Life	○動名詞を学びます。	中間考査 期末考査
	9月 Lesson 6 Shima Uta	○受動態を学びます。	
	10月 Lesson 7 A Cool Invention	○比較表現を学びます。	
	11月 Lesson 8 Tuna Culture	○現在完了形を学びます。	
	12月 2学期の復習		
3学期	1月 Lesson 9 Can Robots Change Our Future?	○関係代名詞を学びます。	学年末考査
	2月 Lesson 10 The Navoi Theater - an Amazing Building -	○分詞を学びます。	
	3月 総復習		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。			

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新版 家庭総合 ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社名	第一学習社	
	副教材	家庭科ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会)、2020最新生活ハンドブック家庭資料&成分表(第一学習社)					

学習の目標	1 家族や生活の営みに関する知識や技術を総合的に習得します。 2 学習した知識や技術を生活に生かし、各自の生活課題を主体的に解決する態度を育成します。 3 家族や社会との共生を創造し、家庭生活の充実向上を図る能力を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 7章 装う 1節 人の一生と被服 3節 被服材料と管理 被服材料の種類と特徴	○被服の役割を知り、暮らしとの関わりを学びます。 ○被服材料の種類と性能を学びます。 ○被服製作に当たって必要な技術を習得します。 ○生活の中の課題を発見し、解決する学習をします。	期末考查
	5月 2節 被服の制作 被服製作実習 ハーフパンツ		
	6月		
	7月 10章 生活の充実・向上を目指して ホームプロジェクトの説明 ホームプロジェクトの発表		
2 学期	8月 7章 装う 3節 被服材料と管理 被服の手入れと保管	○被服の特徴に応じた適切な洗濯・仕上げ・保管等ができるようにします。 ○衣生活の課題を知り、適切に管理できるようにします。 ○子どもとその周囲の関わりりの大切さを学びます。 ○保育体験を通して、子どもと適切に関わることができるようにします。 ○子どもを取り巻く環境と課題について学びます。	期末考查
	9月		
	10月 2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達		
	11月 2節 親の役割 保育体験実習		
12月 3節 子育て支援と福祉			
3 学期	1月 8章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択	○住居の機能と住生活設計、住環境の整備について理解します。 ○健康で安全な住まいについて学びます。 ○地球環境や近隣に配慮し、充実した住生活が営めるようにします。 ○人生すごろくを通して、将来の生活をデザインします。	学年末考查
	2月 3節 これからの住生活		
	3月		
	9章 生活をデザインしよう		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価の観点	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、ノート、課題、ハーフパンツ及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 実習が多くあるので、欠席をしないで意欲的に取り組みましょう。 2 板書を写すだけでなく話をよく聞き、理解に努め、自分の意見をもちましょう。 3 学んだこと、経験したことは日常生活でも実践してみましょう。
-----------	---

教科	外国語	科目	英語表現 I	学年	2年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression I		出版社名	数研出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、読み手や目的に応じて簡潔に書く力を育成します。 3 学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめて発表する力を育成します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 Lesson 1 はじめに① Lesson 2 はじめに② Lesson 3 はじめに③	○英文の基本構造を学びます。 ○適切な動詞を用いた表現を学びます。 ○可算・不可算名詞の表現を学びます。	中間 考査
	5月 Review Exercises 1 Lesson 4 My Friends Lesson 5 My Family	○Lesson1～3の復習をします。 ○肯定文・否定文を学びます。 ○現在形・現在進行形を学びます。	
	6月 Lesson 6 Pastime Lesson 7 My Town Review Exercises 2	○未来の表現を学びます。 ○現在完了・過去完了を学びます。 ○Lesson4～7の復習をします。	
	7月 Lesson 8 Our Teachers 1学期のまとめ	○助動詞(can, must)の表現を学びます。	
	8月 Lesson 8 Our Teachers Lesson 9 Visiting a Museum	○助動詞(must, can't)の表現を学びます。 ○助動詞(should)の表現を学びます。	
	9月 Lesson10 Famous People Lesson11 Reading Review Exercises 3	○SVC, SV0, SV00, SVOCの表現を学びます。 ○受け身の表現を学びます。 ○Lesson8～11の復習をします。	
	10月 Lesson12 Studying Abroad Lesson13 Advice	○不定詞の名詞用法を学びます。 ○不定詞の副詞用法を学びます。	
2 学期	11月 Lesson14 Hobbies Lesson15 My Vacation	○動名詞の名詞表現を学びます。 ○分詞の形容詞用法を学びます。	中間 考査
	12月 Review Exercises 4 2学期のまとめ	○Lesson12～15の復習をします。	
	1月 Lesson16 In a Zoo Lesson17 Our Team Lesson18 Neighbors	○比較級(as...as等)の表現を学びます。 ○比較級(the ~est等)の表現を学びます。 ○関係詞(who, which)を学びます。	
	2月 Lesson19 Speeches Review Exercises 5 Lesson20 My Wish	○関係詞(what, where, when)を学びます。 ○Lesson16～19の復習をします。 ○仮定法の表現を学びます。	
3 学期	3月 Lesson21 A Birthday Gift Review Exercises 6 1年間のまとめ	○接続詞(that, if等)を学びます。 ○Lesson20, 21の復習をします。	学年 末考査

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の観点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	/	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切に、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習(フラワーデザイン)	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	3
教材	教科書	フラワーデザイン			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けます。 2 様々な花材を用いて花飾りを作り、花材を育てることで花材の特性について学習します。 3 フラワー装飾技能検定3級にも挑戦します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 1 フラワーデザインの基礎	○フラワーデザインの種類を学習します。 ○用具と資材について学習します。 ○ワイヤリングメソッドを学習します。 ○フラワー装飾技能検定を理解します。 ○アレンジメントを実習します。 ○デザイン画を学習します。 ○フラワー装飾技能検定3級を学習します。 ○花束とりボンを制作します。 ○バスケットアレンジメントを制作します。 ○ブートニアを制作します。 ○筆記試験対策の学習をします。 ○フラワー装飾技能検定3級を練習します。	期末考查
	5月 2 フラワー装飾技能検定		
	6月		
	7月		
2学期	8月 3 花の栽培と利用 (1) GAPへの取り組み (2) 花材の栽培	○病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境作りについて学習します。 ○花材の栽培計画を立案します。 ○花材の一般的な栽培を学習します。 ○レザーリーフファンの栽培計画を立案し、栽培方法を学習します。 ○ミリオグラタスの栽培計画を立案します。 ○ミリオグラタス栽培を学習します。 ○デンファレの栽培計画を立案します。 ○デンファレ栽培を学習します。 ○デルフィニウムの栽培計画を立案し、栽培方法を学習します。	期末考查
	9月 (3) レザーリーフファンの栽培		
	10月 (4) ミリオグラタスの栽培		
	11月 (5) デンファレの栽培		
	12月 (6) デルフィニウムの栽培		
3学期	1月 4 ブーケの制作	○ブーケの種類を学習します。 ○ブーケの制作留意点について理解します。 ○ラウンドブーケを制作します。 ○キャスケードブーケを制作します。 ○クレセントブーケを制作します。 ○サンバンプーケを制作します。 ○コサージュの制作留意点を理解します。 ○ラウンドを制作します。 ○トライアングュラーを制作します。	学年末考查
	2月		
	3月 5 コサージュの制作		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	フラワーデザインに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	フラワーデザインに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	フラワーデザインに関する基礎的な技術を身に付けている。花材に合わせてその技術を適切に活用している。	フラワーデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、アレンジテクニックや配色を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 フラワー装飾技能検定3級取得を目指し、必要な技術や知識を習得しましょう。 2 フラワーデザイン競技県大会やその他の競技会に参加し、技能の向上に努めましょう。 3 身の周りの花材を用いて、花を大切に美しく花飾りができる技能や知識を習得しましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習（園芸セラピー）	学年	2年（園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択）	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 実習を通して園芸セラピーの実践的な技術や態度を身に付けます。 2 高齢者や地域との交流を図ることにより、豊かな人間性を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	総合実習ガイダンス		期末考查
	5月	第1章 園芸セラピーのプログラム (1)プロジェクト研究の計画・立案	○園芸セラピー活動の1年間の活動内容を計画・立案します。	
	6月	(2)農園芸活動とプロジェクト実施 ・夏野菜、草花の栽培 ・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・園芸セラピーにおける交流活動	○園芸セラピーの知識や技術を用いた栽培活動を行います。 ○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動の在り方を学習します。	
	7月	・GAPを意識した管理 ・樹木の管理	○GAPについて学習します。 ○樹木の剪定技術を学習します。	
2 学期	8月	第2章 交流活動の実践 (1)介護福祉施設での交流活動の実践	○介護施設の行事に参加し、コミュニケーション能力を養います。	期末考查
	9月	第1章 園芸セラピーのプログラム (3)農園芸活動とプロジェクト実施 ・秋冬野菜、草花の栽培 ・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・樹木の管理	○園芸セラピーの知識や技術を用いた栽培活動を行います。 ○園芸セラピーに配慮した作品制作プログラムを考えます。 ○樹木の剪定技術を学習します。	
	10月			
	11月	第2章 交流活動の実践 (2)交流による園芸セラピー活動実践	○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動を行います。	
	12月	第3章 交流活動とプロジェクトのまとめ (1)プロジェクト研究のまとめと発表	○研究の資料をまとめます。 ○研究内容を発表します。	
3 学期	1月	(2)園芸セラピー活動のまとめ (3)プロジェクト研究の計画・立案	○1年間の活動内容をまとめます。 ○プロジェクト研究の計画・立案、実践を行います。	学年末考查
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	園芸セラピーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	園芸セラピーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	園芸セラピーに関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜栽培に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 園芸セラピーを必要としている人に対して、適切な栽培アドバイスできる能力を身に付けましょう。 2 野菜の栽培を通して地域の人、高齢者との交流を通して豊かな人間性を養いましょう。 3 適切な服装で安全な実習を心掛けましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	総合実習(園芸セラピー)	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 実習を通して園芸セラピーの実践的な技術を身に付けます。 2 高齢者や地域との交流を図ることにより、豊かな人間性を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 ガイダンス 2 園芸セラピーのプログラム	○1年間の活動内容について計画を立案します。 ○適応プログラムについて学習します。	期末 考查
	5月	3 施設での活動 (1)夏野菜の栽培	○介護施設ほ場でナス・トマト・ピーマン・カボチャ・オクラ・スイートコーンを植え付け、夏野菜栽培について学習します。	
	6月		○介護施設ほ場でタマネギ・ジャガイモの収穫やサツマイモの植え付け、夏野菜栽培について学習します。	
	7月	(2)夏野菜の栽培・収穫	○介護施設ほ場で夏野菜の収穫を行い、夏野菜栽培について学習します。	
2 学期	8月	(3)夏野菜畑の片付け	○介護施設ほ場の片付けを行い、ジャガイモの植え付けをするなど、秋野菜の栽培準備を行います。	期末 考查
	9月	(4)秋野菜の栽培	○介護施設ほ場でハクサイ、キャベツ、ブロッコリーの植え付け準備や、大根、ニンジン、カブの播種を学習します。	
	10月		○介護施設ほ場での秋野菜栽培の管理作業(施肥他)を学習します。	
	11月	(5)秋野菜の栽培・収穫	○介護施設ほ場でサツマイモなどの野菜収穫を行い、秋野菜栽培を学習します。	
12月	(6)秋野菜畑の片付け	○介護施設ほ場での秋野菜栽培の片付けを実習します。		
3 学期	1月	(7)野菜栽培の準備	○介護施設ほ場で耕うん、追肥、土作りを行い、タマネギ栽培を学習します。	学年 末 考 査
	2月	4 まとめ	○1年間の活動内容をまとめ、レポートにまとめ発表準備を行います。	
	3月		○各自発表します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	園芸セラピーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	園芸セラピーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	園芸セラピーに関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	野菜栽培に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 園芸セラピーを必要としている人に、適切な栽培アドバイスできる能力を身に付けましょう。 2 野菜の栽培を通して地域の人、高齢者との交流を通して豊かな人間性を養いましょう。 3 適切な服装で安全な実習を心掛けましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	農業情報処理	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	農業情報処理			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 情報化社会における情報処理の意義や役割を理解します。 2 情報処理に関する知識と技術を習得します。 3 農業分野における情報を活用する能力と態度を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 生活と農業の情報化	○私たちの生活と情報の関わりについて理解します。	中間 考 査 期 末 考 査
	5月	第2章 情報の基礎	○情報化社会のモラルとセキュリティについて理解します。	
		第3章 コンピュータによる情報の活用	○コンピュータの仕組みと利用について理解します。	
	6月		○情報化社会のモラルとセキュリティについて理解します。	
7月	第1節 表計算ソフトの特徴と機能	○ソフトの特徴と機能を理解します。		
	第2節 表計算ソフトの基本操作	○表作成や編集方法、書式設定方法を理解します。		
2 学期	8月			中間 考 査 期 末 考 査
	9月	第3節 関数の利用	○基本的な関数の使い方を理解し、合理的な表作成の方法を身に付けます。	
	10月	第4節 グラフの作成	○グラフの種類や特徴、表からグラフを作成する方法を理解します。	
	11月	第5節 表計算ソフトの活用	○いろいろな演習問題を行い、表作成の技能を向上させます。	
	12月	第6節 表・グラフ作成の応用(検定の概要)		
3 学期	1月	資格へのチャレンジ	○検定試験問題を取り組み、技術を向上させます。	学 年 末 考 査
	2月	第3章 コンピュータによる情報の活用	○検定へのチャレンジをします。	
	3月	第7節 プレゼンテーション作成 実習 作品発表	○GAPについて学び、プレゼンテーションを作成します。 ○インターネットやデジタルカメラ、図形処理ソフトなどを活用し、実際にプレゼンテーションを作成し、発表します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	農業と情報技術との関わりや自らの課題に対して関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	情報を自らの判断で適切な処理方法を選択し、基礎的な知識と技術を基に合理的に表現する力を身に付けている。	パソコンやアプリケーションソフトの操作能力をはじめ、情報の収集、分析などの基礎的な技術を身に付けている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に処理する知識を身に付け、農業情報などを効果的に活用する手法を理解している。

評価の方法	各学期の定期考査と平常点(提出物、技能・関心・意欲・態度等)を総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 農業における情報処理の役割を正しく理解しましょう。 2 パソコンやアプリケーションソフトの操作能力の向上のために繰り返し練習しましょう。 3 練習の成果を確認するため、各種実務検定の取得に取り組みましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	野菜	学年	2年（園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	野菜		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得します。 2 野菜の特性や栽培に適した環境を理解します。 3 品質の向上と生産性を考える能力と態度を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画			
1 学期	4月 第4章 野菜栽培の実際 第1節 ウリ科野菜の栽培 1 野菜としての特徴	○小玉スイカの特徴について理解します。 ○栽培床、定植の仕方を理解します。 ○管理機の構造と利用方法を理解します。 ○整枝の管理作業や観察をします。 ○誘引、受粉、追肥について理解します。 ○玉つり、摘果の管理作業を理解します。 ○果実肥大の仕方を理解します。 ○病虫害防除を理解します。 ○収穫の判断や収穫方法を理解します。 ○栽培の評価やまとめ方を理解します。 ○試食等による栽培の成果を検証します。 ○GAPについて学習します。	期末考查			
	5月 育苗、畑の準備					
	6月 2 生育の特徴、定植・誘引 3 栽培管理と商品化、整枝					
	7月 4 人工授粉・整枝・施肥 5 玉つり・人工授粉 6 病虫害防除・摘果					
	8月 7 収穫期の判断、観察調査 8 収穫・観察・調査 9 GAP					
	2 学期			8月 第5章 野菜栽培の実際 第1節 アブラナ科野菜の栽培 1 野菜としての特徴	○キャベツの特徴と環境を理解します。 ○栽培の流れを学び栽培計画を立てます。 ○栽培床の調整や畝つくりを理解します。 ○管理機の利用について理解します。 ○定植の仕方について理解します。 ○結球の仕方について理解します。 ○病虫害の特徴とその対策を理解します。 ○動力防除機の利用について理解します。 ○生育障害の特徴と対策を理解します。 ○生育状況について、観察・調査します。 ○出荷調整の仕方について理解します。 ○育苗のねらいとやり方を理解します。 ○育苗の施設について理解します。	期末考查
				9月 畑の準備・播種・苗作り		
				10月 2 生育の特徴、生育と環境 3 栽培管理と商品化、作型と品種		
				11月 4 結球の仕方・追肥 5 病虫害防除 6 生育障害とその対策		
12月 7 収穫・観察・調査 8 収穫・調整						
3 学期		第3章 野菜の栽培と環境管理 第1節 果菜類の育苗 1 育苗のねらい 2 育苗の施設	○電熱温床のしくみと特徴を理解します。 ○土づくりや育苗の準備を理解します。 ○播種の仕方や発芽の様子を観察します。 ○自動播種機について理解します。 ○野菜の接ぎ木の方法を理解します。 ○接ぎ木後の管理について理解します。	学年末考查		
		1月 3 苗床（電熱温床）のしくみと特徴				
		2月 4 育苗の環境 5 播種と発芽期の管理				
		3月 6 野菜苗の接ぎ木				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	野菜の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容を理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。	野菜栽培の実習に真剣に取り組み、技能を身に付けている。	野菜栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。

評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 活動・観察記録票やノートは丁寧に正確に記録しましょう。 2 野菜栽培を通して、栽培技術を理解し栽培技術を習得しましょう。 3 野菜栽培に関心を持ち、身近な課題を見つけて観察・調査に取り組みましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	草花	学年	2年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	草花		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花の体験的、継続的な栽培活動と、観察、実験、調査、記録などの学習活動を行います。 2 草花の生理・生態的な特性や栽培環境及びそれらと生育の相互関係を理解します。 3 生育や環境の調節など栽培に関する基本的、体系的な知識と技術の習得を目指します。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第1章 草花生産と消費の動向 第1節 草花園芸の特徴 ② 草花の種類	○草花の分類について学習します。 ○カーネーションの栽培管理と出荷調整について学習します。 ○盆栽菊・杉木立菊・笠菊の栽培管理作業について学習します。	中間考查 期末考查
	5月 第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク		
	6月 ③ カーネーション		
	7月		
2学期	8月 第1章 草花生産と消費の動向 第1節 草花園芸の特徴 ③ 草花の生産形態	○草花の生産形態について学習します。 ○草花の生産と消費の動向について学習します。 ○盆栽菊・杉木立菊・笠菊の栽培管理作業について学習します。 ○菊花展での販売と、それに向けての販売準備を行います。	中間考查 期末考查
	9月 第2節 草花生産と消費の動向 ① 生産の動向 ② 消費の動向		
	10月 第4章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク		
	11月		
12月			
3学期	1月 第2章 生活と草花の利用 第1節 草花の多面的利用 第2節 園芸デザイン	○草花の多面的な利用方法や園芸療法について学習します。 ○園芸デザインの基本として配色や装飾について学習します。	学年末考查
	2月		
	3月		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	草花の栽培に関心を持ち、学習の取り組みが意欲的である。座学では授業の準備を整え、時間内の内容が理解するように努め、実習の際には、準備・後片付けを自ら進んで取り組んでいる。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けるように取り組んでいる。	草花栽培の実習を真剣に取り組み、定植・整枝・誘引・育苗などの技能を身に付けている。	草花栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解するように取り組んでいる。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢や実習での技能などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 菊の栽培の基本(草花の種類や栽培方法等)について学びましょう。 2 品質と生産性の向上などの草花を栽培する技術を身に付けましょう。 3 草花の多面的利用に関心を持ち、知識や技術の習得を目指しましょう。			

教科	農業	科目	フラワーデザイン	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型)	単位数	2
教材	教科書	フラワーデザイン			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 切花・ドライフラワー・造花等を用いて、アクセサリ制作やディスプレイ等を行います。 2 豊かな生活空間を作り出すための活動や、イベント・セレモニー等に参加します。 3 職業人として活躍できるスペシャリストに必要な能力と態度の基礎を育てます。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 1 フラワーデザインの種類	○フラワーデザインの種類を学習します。 ○用具と資材を学習します。	期末考查
	5月 2 色彩検定3級に向けて (1) 色のはたらき (2) 光と色	○色のはたらきを学習します。 ○色はなぜ見えるのか理解します。 ○目のしくみを学習します。	
		6月 (3) 色の表示	
	7月	○色の視覚効果を理解します。 ○色の知覚的効果を理解します。 ○配色の基本的な考え方を学習します。 ○色相から配色を考えます。 ○トーンから配色を考えます。 ○配色の基本的な技法を学習します。 ○配色演算についてを学習します。 ○色彩と構成についてを学習します。 ○色彩と生活についてを学習します。	
2 学期	8月 (4) 色彩心理	○ファッションと色彩を学習します。 ○インテリアと色彩を理解します。 ○花の流通過程を理解します。 ○植物の形について考えます。	
	9月 (5) 色彩調和	○フォーカルポイントを理解します。 ○アレンジテクニックを学習します。	
		10月 (6) 色彩効果	
	11月 (7) 色彩と生活	○コサージュを制作します。 ○コサージュの制作と評価をします。	
	12月 (8) ファッションと色彩 (9) インテリアと色彩 (10) GAPと花	○ブートニアを制作します。 ○ブートニアの制作と評価をします。	
	12月 3 フラワーデザインの基礎 (1) 花材の形態別使い方		
3 学期	1月 (2) 水揚げ		学年末考查
	2月 (3) アレンジメントの制作方法		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	フラワーデザインに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	フラワーデザインに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	フラワーデザインに関する基礎的な技術を身に付けている。花材に合わせてその技術を適切に活用している。	フラワーデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、アレンジテクニックや配色を正しく理解している。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録、ノート、作品や実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 色彩検定3級の資格取得を目指すので、身の回りの色に興味関心を持ち、勉強しましょう。 2 花材や葉物の種類、用具や資材の名称を覚えるようにしましょう。 3 簡単なコサージュやブートニアの制作実習を行うので、作り方を正確に覚えましょう。			

教科	農業	科目	園芸セラピー	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	福祉のための農園芸活動			出版社名	農文協	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 心身に障がいを持った人に対して園芸作物の持つ特性を生かした取組を行います。 2 園芸によってQOL(Quality of life=生活・人生の質)を高めるための学習を行います。 3 園芸作物を育てる基礎的な学習も行います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1学期	4月 第1章 農園芸活動のすすめ (1)社会をいやす農業・園芸 (2)農園芸の楽しさと難しさ	○農園芸活動の効果について学びます。	中間 考 査	
	5月 (3)園芸セラピーとは 第4章 園芸活動の実践	○園芸セラピーの概念を学びます。 ○家庭で栽培プロジェクトを行います。		
	6月 (1)果菜類栽培プログラムの作成 (2)植物の栽培・利用の流れとプログラムの展開(果菜類の栽培) ・果菜類の栽培実践(ナス・ピーマン)	○栽培に必要な知識・技術を学びます。 ○福祉的に配慮した栽培を実践します。 ○安全な農作業について考えます。		
	7月 (3)GAPについて ・果菜類の利用	○収穫物の加工について学びます。 ○GAPについて実習します。 ○家庭プロジェクトをまとめます。		
2学期	8月 (4)葉菜類栽培プログラムの作成	○家庭で栽培プロジェクトを行います。	中間 考 査	
	9月 (5)植物の栽培・利用の流れとプログラムの展開(葉菜類の栽培) ・葉菜類の栽培実践(ハクサイ)	○栽培に必要な知識・技術を学びます。 ○福祉的に配慮した栽培を実践します。 ○安全な農作業について考えます。		
	10月 (6)花の栽培・利用の流れとプログラムの展開(葉菜類の栽培) ・一年草の栽培実践(パンジー・ピオラ他)	○栽培に必要な知識・技術を学びます。 ○草花利用を実践します。 ○安全な作業について考えます。		
	11月 (7)一年草の利用	○家庭プロジェクトをまとめます。		
3学期	12月 (8)一年草の利用	○家庭プロジェクトをまとめます。	期 末 考 査	
	1月 第2章 農園芸活動の基礎 (1)作物栽培の流れ	○栽培の基礎的技術を学習します。		学 年 末 考 査
	2月 (2)活用場所を用意する (3)農園芸作業を容易にする工夫 (4)必要な注意事項	○農薬の種類や散布について学びます。 ○作業の工夫について学びます。 ○福祉的な配慮に基づいた農作業に必要な注意事項を学習します。		
3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	園芸セラピーに関心を持ち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	農園芸活動に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農園芸活動に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	農園芸活動に関する基礎的な知識を身に付け、農園芸福祉の重要性を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
学習へのアドバイス	1 園芸セラピーについて基本的な学習をしましょう。 2 年間を通じて野菜栽培の基礎を系統的に実習を通じて学習しましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。

教科	農業	科目	園芸セラピー	学年	2年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	福祉のための農園芸活動			出版社名	農文協	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 心身に障害を持った人に対して園芸作物の持つ特性を生かした取組を行います。 2 園芸によってQOL(Quality of life=生活・人生の質)を高めるための学習を行います。 3 園芸作物を育てる基礎的な学習も行います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 農園芸活動のすすめ (1)人の一生と生活・健康 (2)自立生活支援の基本	○健康の概念について学びます。 ○高齢化社会におけるQOLについて学習します。	中間 考査
	5月	(3)園芸セラピー (4)農園芸活動の効果 (5)農園芸の楽しさ難しさ	○高齢者の自立と希望尊重、コミュニケーションの重要性を学習します。 ○園芸セラピーの概念を学習します。	
	6月	2 農園芸活動の基礎 (1)栽培の基礎 (2)栽培の工夫	○農園芸活動の効果について学習します。 ○農園芸活動が目指すものについて学習します。	
	7月	(3)GAPについて 3 無理せずできる農園芸活動 (1)福祉的な農園芸活動	○農産園芸活動に必要な注意事項を学習します。 ○GAPについて実習します。	
2 学期	8月	4 高齢者福祉施設での交流	○福祉施設への訪問をします。	中間 考査
	9月	5 農園芸活動に向けて (1)介護と生活支援の実際 (2)介護における問題	○草花栽培の基本的な流れを学習します。 ○歩行や車いすの利用を学習します。 ○高齢者に起こりやすい問題を考えます。	
	10月	(3)PDSD (4)高齢者福祉施設の見学	○PTSDの概念と症状、経緯について学習します。	
	11月	(5)農産園芸福祉 (6)農空間の意義 (7)農園芸活動の効果	○レクリエーションについて学習します。 ○高齢者福祉施設を見学します。 ○農園芸福祉の重要性を学習します。	
	12月	(8)高齢者と農園芸活動 (9)子どもと農園芸活動	○農園芸活動の効果と意義を学習します。 ○高齢者との農園芸活動を考察します。 ○子どもとの農園芸活動を考察します。	
3 学期	1月	6 農園芸活動の実際 (1)事前準備 (2)交流プログラム作成	○無理せず行える交流活動を学習し、問題点を考えます。 ○交流活動のプログラム作成について考えます。	学年 末考査
	2月	(3)交流活動の流れ	○花による交流活動を準備・実践します。	
	3月	(4)ボランティア活動の参加 (5)学習のまとめ	○ボランティア活動の役割について考えます。	

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	園芸セラピーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。	農園芸活動に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農園芸活動に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	農園芸活動に関する基礎的で基本的な知識を身に付け、農園芸福祉の重要性を正しく理解している。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 園芸セラピーについて基礎的な学習をしましょう。 2 年間を通じて野菜栽培の基礎を系統的に実習を通じて学習しましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。
-----------	--